

令和元年度 全国がん登録届出票作成講習会

講義・演習 1

宮城県立がんセンター 宮城県がん登録室

はじめに

- 全国がん登録の届出票の作成は難しい

理由

- 診療録から**正確な情報を読み取る**ことが必要
- そのためには、**がんに関する知識、がん登録特有のルール**についての理解が必要
- しかし、そのための**トレーニングの機会がない**

届出票作成講習会

1. **診断施設、治療施設など**
2. がん概論、進展度
3. 原発部位、側性、病理診断
4. 初回治療、総合演習

午前中はこちら！

- ⑪ 診断施設
- ⑫ 治療施設
- ⑬ 診断根拠
- ⑭ 診断日
- ⑮ 発見経緯

チェックすると入力できるようになります

全国がん登録届出票①

① 病院等の名称	宮城県 宮城県立がんセンター
② 診療科番号	(全半角16文字)
③ カナ氏名	シ (全角カナ10文字) メイ (全角カナ10文字)
④ 氏名	氏 (全角10文字) 名 (全角10文字)
⑤ 性別	<input type="checkbox"/> 1. 男性 <input type="checkbox"/> 2. 女性
⑥ 生年月日	<input type="checkbox"/> 0. 西暦 <input type="checkbox"/> 1. 明治 <input type="checkbox"/> 2. 大正 <input type="checkbox"/> 3. 昭和 <input type="checkbox"/> 4. 平成 年 月 日
⑦ 診療時住所	都道府県選択 市町村以下 (全半角10文字)
⑧ 側性	<input type="checkbox"/> 1. 右 <input type="checkbox"/> 2. 左 <input type="checkbox"/> 3. 両側 <input type="checkbox"/> 7. 男性なし <input type="checkbox"/> 9. 不明
⑨ 腫瘍部位	大分類 中分類
⑩ 診断施設	施設番号 施設名・施設
⑪ 診断施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設診断 <input type="checkbox"/> 2. 他施設診断
⑫ 治療施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療せず、他施設に紹介またはその他の経過不明 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後、自施設に受診して初回治療を継続 <input type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 9. その他
⑬ 診断根拠	<input type="checkbox"/> 1. 原発部の組織診 <input type="checkbox"/> 2. 転移部の組織診 <input type="checkbox"/> 3. 細胞診 <input type="checkbox"/> 4. 部位特異的腫瘍マーカー <input type="checkbox"/> 5. 腫非検査 <input type="checkbox"/> 6. 腫非診断 <input type="checkbox"/> 9. 不明
⑭ 発見経緯	<input type="checkbox"/> 0. 西暦 年 月 日 <input type="checkbox"/> 1. がん検診・検診結果・人間ドックでの発見 <input type="checkbox"/> 2. 他施設の経過観察中の偶然発見 <input type="checkbox"/> 4. 術後発見 <input type="checkbox"/> 9. その他 <input type="checkbox"/> 9. 不明
⑮ 進行	① 400. 上部内 <input type="checkbox"/> 410. 陰窩 <input type="checkbox"/> 420. 嚢嚢リンパ管転移 <input type="checkbox"/> 430. 嚢嚢転移 ② 440. 嚢嚢転移 <input type="checkbox"/> 777. 診断せず <input type="checkbox"/> 499. 不明 ③ 400. 上部内 <input type="checkbox"/> 410. 陰窩 <input type="checkbox"/> 420. 嚢嚢リンパ管転移 <input type="checkbox"/> 430. 嚢嚢転移 ④ 440. 嚢嚢転移 <input type="checkbox"/> 660. 手術なし・術前治療後 <input type="checkbox"/> 777. 診断せず <input type="checkbox"/> 499. 不明
⑯ 経過	① 自施設で実施 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で実施なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明 ② 自施設で実施 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で実施なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明 ③ 自施設で実施 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で実施なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明 ④ 1. 腫瘍縮小なし <input type="checkbox"/> 4. 腫瘍増大あり <input type="checkbox"/> 6. 純血の治療なし <input type="checkbox"/> 9. 不明
⑰ その他	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で実施 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で実施なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明 <input type="checkbox"/> 1. 自施設で実施 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で実施なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明 <input type="checkbox"/> 1. 自施設で実施 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で実施なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明 <input type="checkbox"/> 1. 自施設で実施 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で実施なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
⑱ 発症日	<input type="checkbox"/> 0. 西暦 年 月 日
備考	(全半角128文字)

届出票作成おすすめ手順

- 初回治療前までに行われた**最も確かな検査**
 - ⑪診断施設
 - ⑭診断日
- 全経過での**最も確かな検査**
 - ⑬診断根拠
- ⑫治療施設
- ⑮発見経緯

初回治療前までに行われた 最も確かな検査を理解すると 診断施設、診断日がわかる！





最も確かな検査とは...

「がん」と診断するために行った検査の中で最も確実な検査のこと。

診断施設・診断日

- 初回治療前までに行った検査を時系列に並べて**一番最初に最も確かな検査をした施設を診断施設**とする。
(ただし、他施設への紹介後は含まない)
- **診断施設が決まったら**、自施設診断か、他施設診断かで**診断日が決まる**。

「がん」と診断するために行われる 最も確かな検査

区分	説明	備考
1 原発巣の組織診陽性	病理組織診によるがんの診断	顕微鏡学的(病理学的)診断 =直接がん細胞を確認できるもの 
2 転移巣の組織診陽性	病理組織診によるがんの診断	
3 細胞診陽性	病理組織診ではがんの診断が無く、細胞診によるがんの診断	
4 部位特異的腫瘍マーカー	<ul style="list-style-type: none"> • 肝細胞癌でのAFP高値 • 絨毛癌でのHCG高値 • 神経芽細胞腫でのVMA高値 • ワルデンストロームマクログロブリン血症での免疫グロブリン高値 	4つ限定 顕微鏡学的(病理学的)診断ではない =直接がん細胞を確認できないもの
5 臨床検査	上記以外の腫瘍マーカー、画像診断(CT、MRI、エコー、X線、PET)、内視鏡・手術の所見等	 
6 臨床診断	1~5以外の検査(視診や触診での診断)	

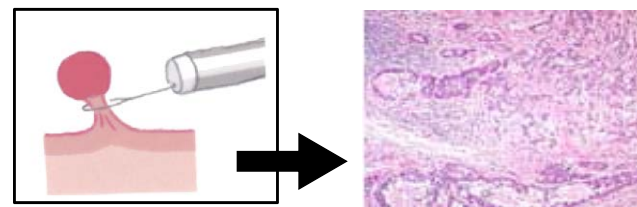
※上から順番に最も確かな検査です。

組織診とは？

スライド7
区分1、2

組織診

- ☞ 最も確かな診断方法
- ☞ ひとかたまりとして組織を採取(生検: biopsy)する
- ☞ 手段としては、手術的、内視鏡的、針生検などがある
- ☞ 手術/内視鏡では、検査(生検)ではなく、治療として病変全体の切除が行われることも多い

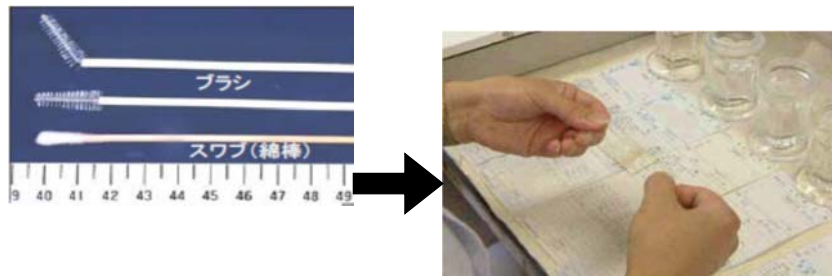


細胞診とは？

スライド7
区分3

細胞診

- 組織診に次いで確実な診断方法
- 身体から排出されたもの(喀痰、尿等)から標本を作成
- 擦過したり(擦過細胞診)、洗浄液をとることもある



9

組織診、細胞診とは？

★組織診

- Group I 異型を示さない
- Group II 異型はあるが、良性
- Group III 良性・悪性の境界域
- Group IV 悪性が強く疑われる
- Group V 悪性病変

組織診も、細胞診も、
数字の大きい方がより「悪性」
数字の小さい方がより「良性」

★細胞診

- Class 1 異型細胞を示さない
- Class 2 異型細胞はあるが、良性
- Class 3 良性・悪性の境界域
- Class 4 悪性が強く疑われる
- Class 5 悪性病変

10

⑬診断根拠

マニュアル 35ページ

コード

1. 原発巣の組織診
2. 転移巣の組織診
3. 細胞診
4. 部位特異的腫瘍マーカー
5. 臨床検査
6. 臨床診断
9. 不明

「がん」と診断する根拠となった最も確からしい根拠(検査)をどの検査とするか、については、**もっとも数字の小さい検査**を選択する。

11

届出票作成おすすめ手順

- 初回治療前までに行われた**最も確かな検査**
 - ⑪診断施設
 - ⑭診断日
- 全経過での**最も確かな検査**
 - ⑬診断根拠
- ⑫治療施設
- ⑮発見経緯

12

⑪ 診断施設

コード

1. 自施設診断

2. 他施設診断

初回治療前に行った最も確からしい検査を自施設で施行した場合

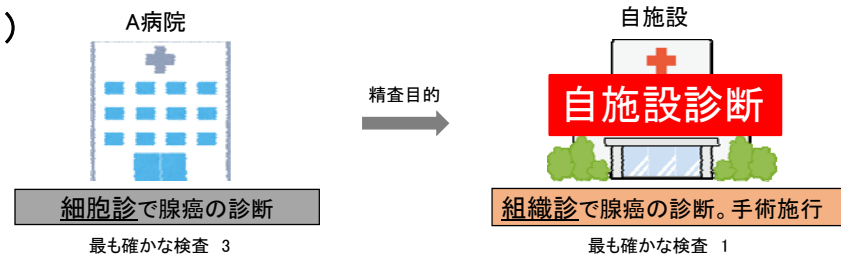
自施設を受診する前に最も確からしい検査を施行していた場合

ポイント

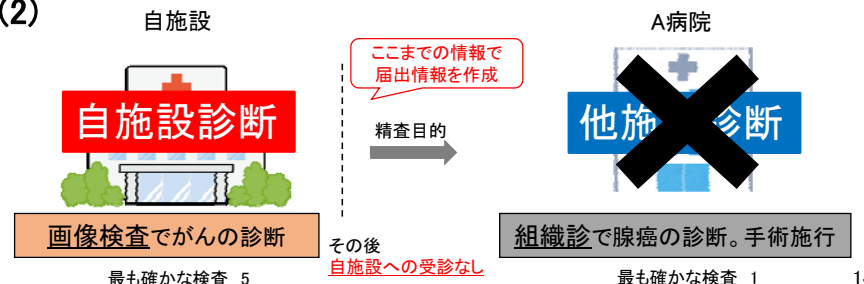
自施設、他施設で行った検査を時系列に並べてみて、「もっとも確からしい検査」が複数回行われている場合は、より早い日に行われた検査を施行した施設を診断施設とする。

⑪ 診断施設

(1)

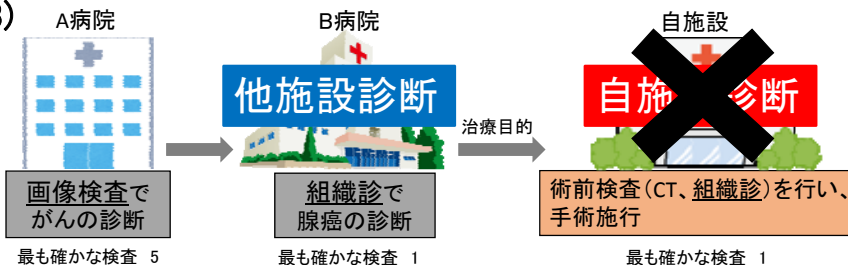


(2)

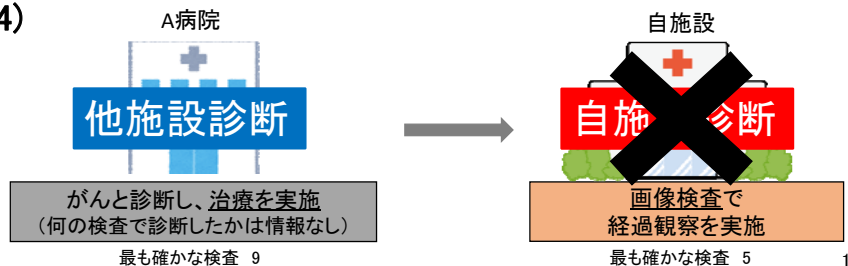


⑪ 診断施設

(3)



(4)



⑭ 診断日

⑪ 診断施設が

1. 自施設診断のときは **自施設診断日**
2. 他施設診断のときは **当該腫瘍初診日**

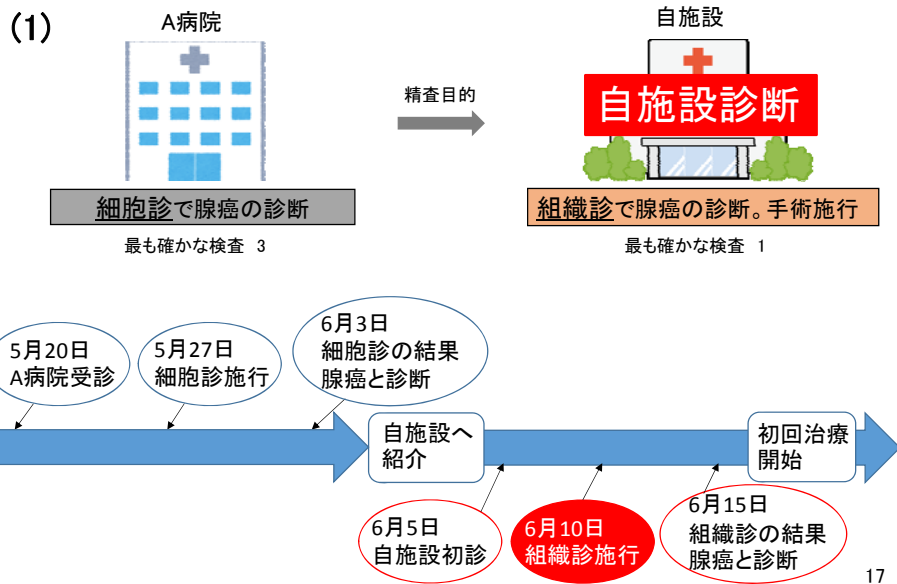
— 自施設診断日とは

- 項目「診断施設」が「1 自施設診断」のとき、自施設を受診後に実施され、「がん」と診断された検査のうち、最も確からしい検査を実施した日。
- 生前に存在が疑われていなかったがんが死体解剖により初めて診断された場合は、死亡日を自施設診断日とする。

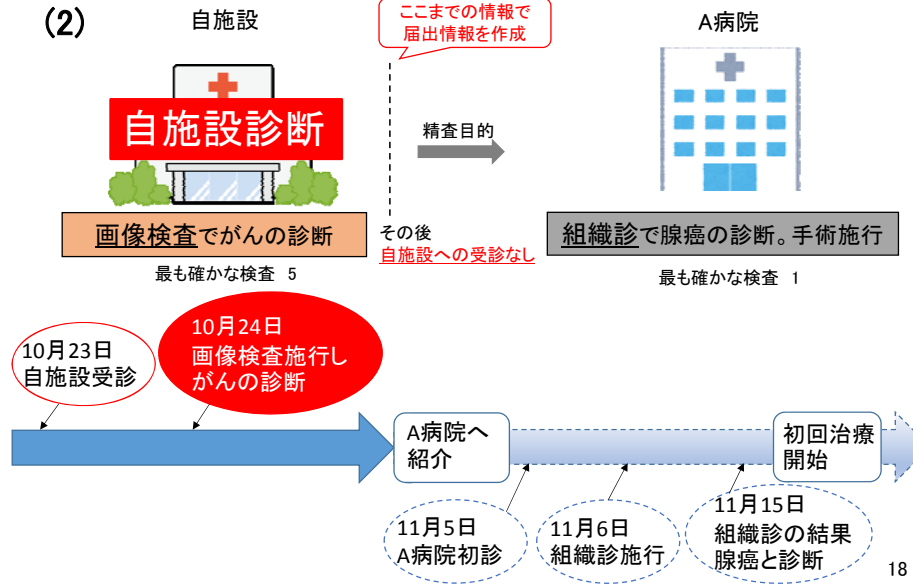
— 当該腫瘍初診日とは

- 項目「診断施設」が「2 他施設診断」のとき、当該がんの診断や治療のために、初めて患者が自施設を受診した日。

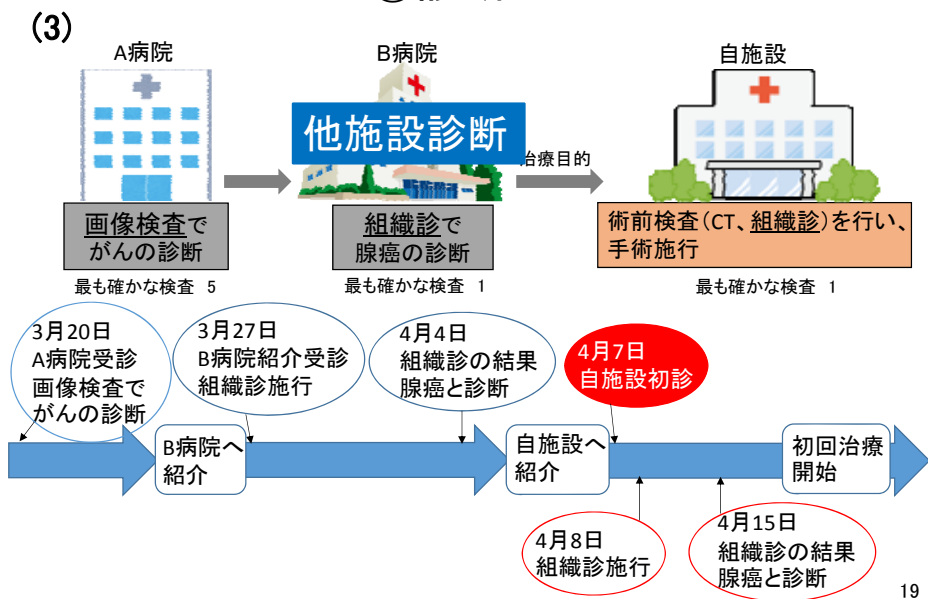
⑭診断日



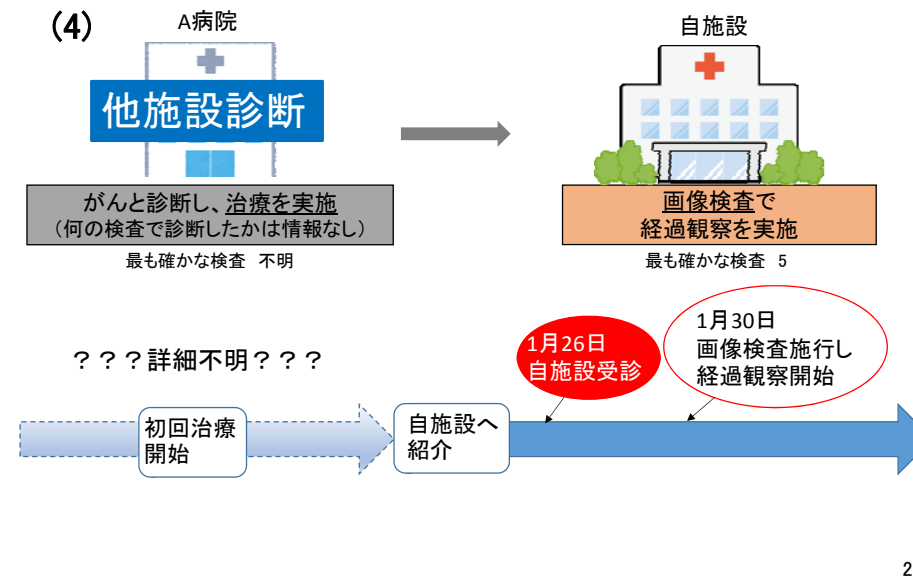
⑭診断日



⑭診断日



⑭診断日



届出票作成おすすめ手順

- 初回治療前までに行われ^済た最も確かな検査
 - ⑪診^済施設
 - ⑭^済所日
- 全経過での最も確かな検査
 - ⑬診断根拠
- ⑫治療施設
- ⑮発見経緯

⑬診断根拠

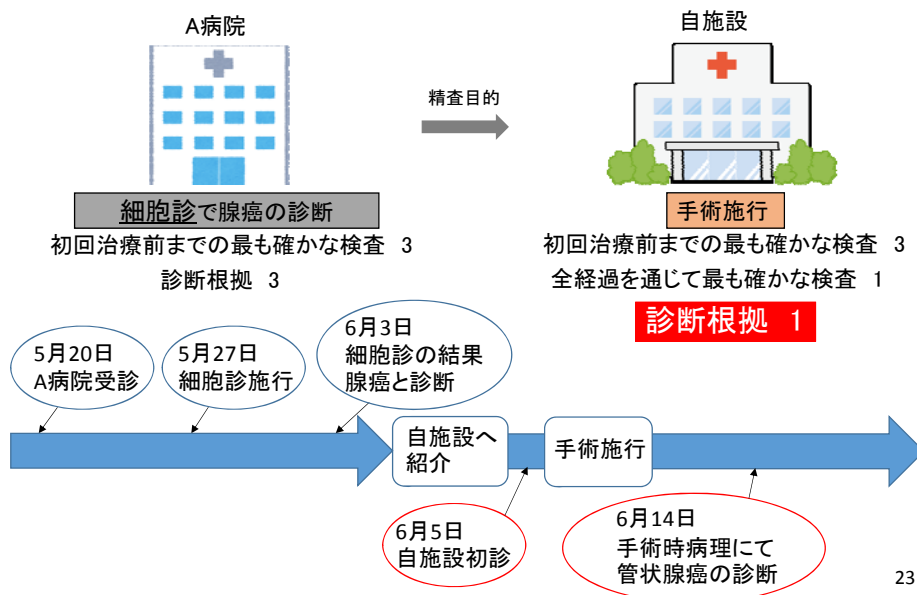
コード

1. 原発巣の組織診
2. 転移巣の組織診
3. 細胞診
4. 部位特異的腫瘍マーカー
5. 臨床検査
6. 臨床診断
9. 不明

☞「がん」と診断する根拠となった最も確からしい根拠(検査)をどの検査とするか、については、もっとも数字の小さい検査を選択する。

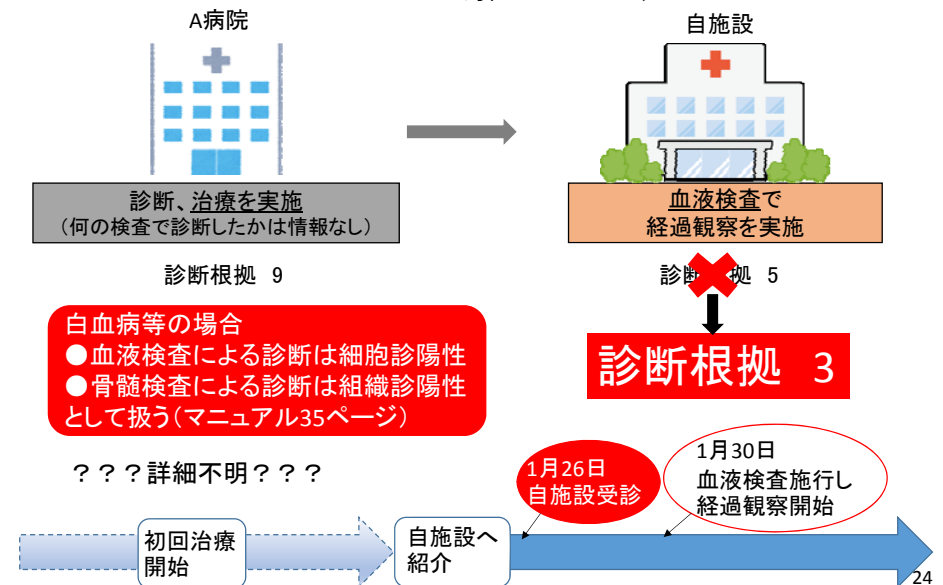
☞患者の全経過を通じて選択する。
(ただし、他施設へ紹介後の情報は除く。)

⑬診断根拠



⑬診断根拠(白血病等の場合)

局在コードがC420、C421



⑫治療施設

コード

1. 自施設で初回治療をせず、
他施設に紹介又はその後の経過不明
2. 自施設で初回治療を開始
3. 他施設で初回治療を開始後に、
自施設に受診して初回治療を継続
4. 他施設で初回治療を終了後に、
自施設を受診
8. その他

⑫治療施設

コード

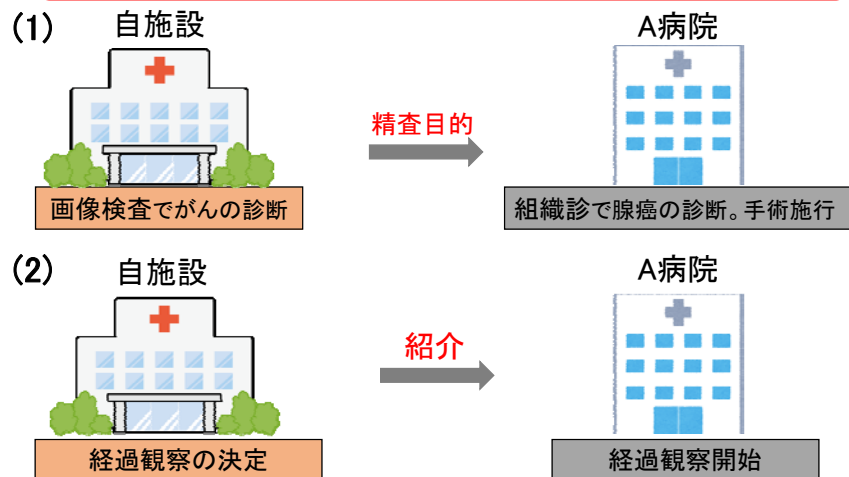
1. 自施設で初回治療をせず、
他施設に紹介又はその後の経過不明



- ☞ 初回治療をしていない場合
- ☞ 初回治療方針決定前に患者が来院しなくなった場合
- ☞ 経過観察の決定のみの場合

⑫治療施設

1. 自施設で初回治療をせず、
他施設に紹介又はその後の経過不明



⑫治療施設

コード

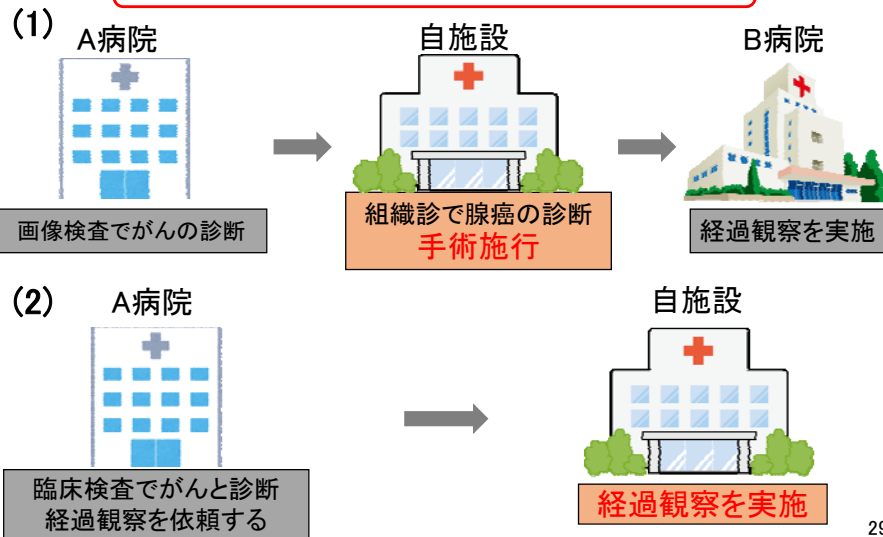
2. 自施設で初回治療を開始



- ☞ 初回治療を自施設で施行した場合
- ☞ 初回治療として経過観察の開始をした場合

⑫治療施設

2. 自施設で初回治療を開始



29

マニュアル 34ページ

⑫治療施設

コード

3. 他施設で初回治療を開始後に、 自施設に受診して初回治療を継続

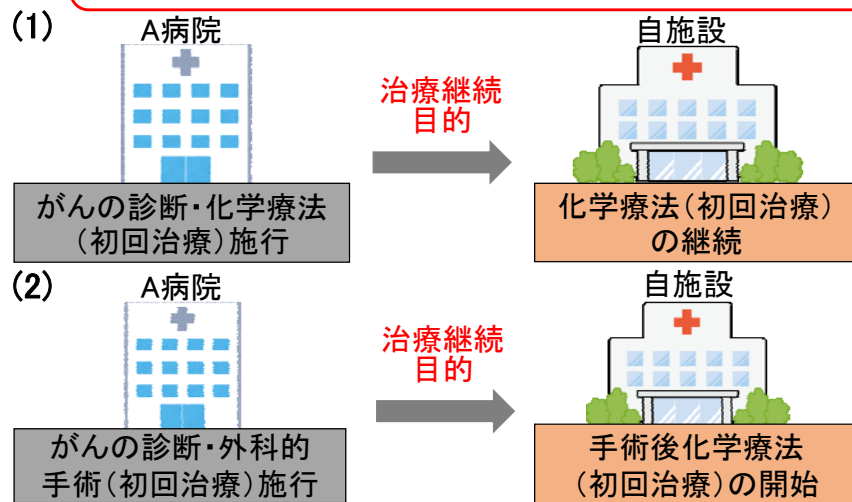
☞ 初回治療開始後に、
自施設で初回治療を継続して行った場合

～初回治療の継続とは～
例) 手術後の化学療法、
放射線療法後の手術、
内視鏡的切除術後の外科的手術
などがある。

30

⑫治療施設

3. 他施設で初回治療を開始後に、 自施設に受診して初回治療を継続



31

マニュアル 34ページ

⑫治療施設

コード

4. 他施設で初回治療を終了後に、 自施設を受診

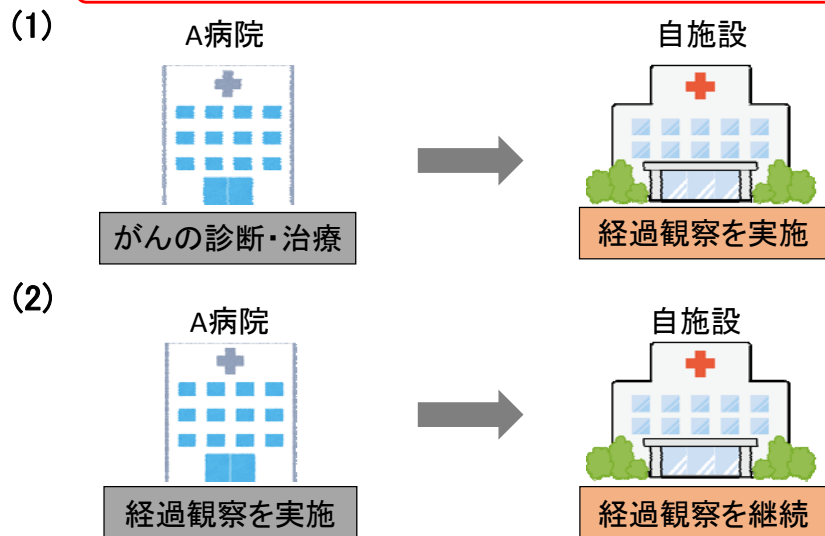
☞ 他施設で、初回治療終了後に自施設を受診した場合
☞ 経過観察の決定と実施は他施設で行っており、
自施設で継続した場合

32

⑫治療施設

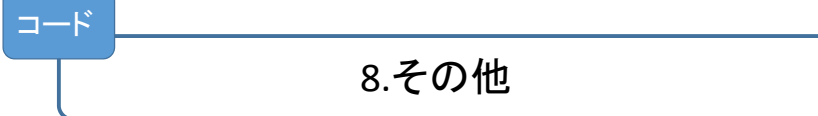
マニュアル 34ページ

4.他施設で初回治療を終了後に、自施設を受診



33

⑫治療施設



☞ 死体解剖で初めて診断された場合

例) 意識不明のため自施設に救急搬送後、まもなく死亡。
死因解明のため、死体解剖実施。
解剖の結果、初めて肝臓がんが発見された。

注意

安易に選択しない！
通常の診療では、1～4のいずれかを選択する

34

⑮発見経緯

マニュアル 37ページ

コード

- 1.がん検診・健康診断・人間ドック
- 3.他疾患の経過観察中の偶然発見
- 4.剖検発見
- 8.その他
- 9.不明

☞ 自施設他施設を問わず、当該がんに関して初めて医療機関を初診した際の状況を判断する。

☞ 自覚症状による受診の場合は「8.その他」とする

35

届出内容でご不明な点などは
些細なことでもご遠慮なく
当室にお問い合わせください

- 個人情報を含まない内容のお問い合わせ
→電話 または メールで受け付け
- 個人情報を含む内容のお問い合わせ
→電話のみ受け付け

36

★演習問題を解いてみましょう！

- 【演習問題 1】 1～10ページ
- 講義スライドは6ページ以降
- 届出マニュアルは33～37ページ
- スライド資料①の届出票を参考にコードを選んで記入してください。